

## I 事業所の概要

問1 従業員数の内訳を教えてください。

正社員・正職員		パートタイマー・アルバイト・嘱託・派遣社員等	
男 性	女 性	男 性	女 性
人	人	人	人

※正社員・正職員とは、雇用期間を決めずに雇われている者です。

問2 従業員数の年代を教えてください（正社員、パートタイマー等すべての従業員を含む。）。

	男性	女性
20歳未満	人	人
20～39歳	人	人
40～59歳	人	人
60歳以上	人	人

問3 管理職の人数を教えてください。

管 理 職	
男 性	女 性
人	人

※管理職とは、配下の従業員を指揮・監督する立場にある役職をいいます。

## II 男女格差を解消するための取り組み

問4 女性を積極的に活用するためにどのようなことに取り組んでいますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 女性の管理職を積極的に登用している。</li> <li>2. 仕事と家庭を両立するための制度を整備している。</li> <li>3. 結婚・出産後も継続して就業できるよう、勤務地や勤務条件に配慮している。</li> <li>4. 基準を明確化し、性別にとらわれない人事考課を行っている。</li> <li>5. 女性活用の担当部局や担当者等を定めている。</li> <li>6. 女性にさまざまな仕事を経験してもらい、職域を拡大している。</li> <li>7. 従業員に対して女性活用について啓発している。</li> <li>8. 女性の雇用や登用に関する計画を策定している。<br/>(女性活躍推進法や次世代育成支援対策推進法に基づく計画を含む)</li> <li>9. その他(具体的に: _____)</li> <li>10. 特に取り組みはしていない。</li> </ol> |
|--|

問5 女性を積極的に活用することによって得られる効果と思われるものを、  
3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 職場の雰囲気よくなり、活気が出る。<br>2. 多様な視点を持つことで、多方面からのニーズに応えられる。<br>3. 女性の勤労意欲が高まる。<br>4. 人的資源を有効活用できる。<br>5. 女性の定着率が高まる。<br>6. 業務に必要な知識や技術が蓄積される。<br>7. 企業のイメージアップにつながる。<br>8. 生産性が向上する。<br>9. その他（具体的に： _____ )<br>10. 特に効果やメリットは感じない。 |
|---|

問6 女性を積極的に活用する際、課題となるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 家事・育児などの負担を考慮する必要がある。<br>2. 安全面（体力など）に配慮が必要である。<br>3. 時間外労働、深夜労働をしてもらいにくい。<br>4. 女性自身の職業意識が低い。<br>5. 女性自身が昇進を望まない。<br>6. 女性の積極的活用に関し、事業所内の理解・認識が不十分である。<br>7. 女性のための就業環境整備（トイレ、更衣室など）にコストがかかる。<br>8. 女性の勤続年数が比較的短い。<br>9. その他（具体的に： _____ )<br>10. 特に不安やデメリットは感じない。 |
|--|

### Ⅲ 育児・介護支援

問7 従業員の育児休業・介護休業の利用（取得）状況について教えてください。

#### ①育児休業

令和5年4月1日から 令和6年3月31日までに 配偶者が出産した男性従業員	人	令和5年4月1日から 令和6年3月31日までに 出産した女性従業員	人
うち、育児休業を取得した 男性従業員	人	うち、育児休業を取得した 女性従業員	人

#### ②介護休業

	男 性	女 性
令和5年4月1日から令和6年3月31日までに 介護休業を取得した従業員	人	人

問8 【問7で育児休業または介護休業を取得した人がいる事業所にお聞きします】

休業中の従業員代替要員をどのように確保されましたか。育児休業、介護休業それぞれについて、あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

育児休業	介護休業
1. 部署内でやりくり	1. 部署内でやりくり
2. 配置転換で代替	2. 配置転換で代替
3. 派遣労働者を利用	3. 派遣労働者を利用
4. 期間雇用者(パート・アルバイト)を雇用	4. 期間雇用者(パート・アルバイト)を雇用
5. その他(具体的に: )	5. その他(具体的に: )

問9 育児や介護を行う従業員を支援するために、どのような制度を実施していますか。育児休業、介護休業それぞれについてあてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

育児休業	介護休業
1. 育児休業制度(法律の枠内)	1. 介護休業制度(法律の枠内)
2. 短時間勤務制度	2. 短時間勤務制度
3. 始業・終業時間の繰り上げ・繰り下げ	3. 始業・終業時間の繰り上げ・繰り下げ
4. 所定外労働の免除	4. 所定外労働の免除
5. 転勤・配置転換の際の配慮	5. 転勤・配置転換の際の配慮
6. 再雇用制度	6. 再雇用制度
7. フレックスタイム制度	7. フレックスタイム制度
8. 在宅勤務制度	8. 在宅勤務制度
9. 保育施設や保育サービスを利用するための経費の援助	9. 介護施設や介護サービスを利用するための経費の援助
10. 企業内託児所の設置	10. その他(具体的に: )
11. その他(具体的に: )	11. 特に実施していない
12. 特に実施していない	

問10 育児休業や介護休業の制度利用を促進しようとする場合、どのような問題があると思いますか。  
3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 育児休業や介護休業などによる代替要員の確保が難しい。
2. 職場で周りの人の業務量が増える。
3. 休業することによって収入などの面で不安があるため、従業員が利用を望まない。
4. そもそも有給休暇の取得率が低く(30%程度以下)、育児休業や介護休業の意識がない。
5. 日常的に労働時間が長い部門・部署がある。
6. 育児休業や介護休業を取りづらい雰囲気がある。
7. 営業時間上の制約がある(顧客対応や開店・閉店時間など)。
8. 支援制度の導入に伴い、コストが増大する。
9. 公的及び民間の保育・介護サービスが不足している。
10. その他(具体的に: )
11. 特に問題となることはない。



## ご意見・ご要望

最後に、この調査についての意見、感想、また男女共同参画の推進等についての意見などございましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。